

令和4年度大学陳情結果報告

全国商業高等学校長協会大学入試対策委員会

国公立大学陳情結果報告

| 大学名 | 面会者(役職) | 商業高校生に対する推薦入学制・特別推薦制等の要望事項に対する反応 推薦入学・特別推薦制、資格重視・商業科目の導入・拡大等 |
|-------|--|--|
| 鹿児島大学 | 法文学部長室 法文学部長・大学院人文社 会化学研究科長 他3名 | 法文学部における「学校推薦選抜型Ⅰ」の導入について要望し、令和7年度から法文学部 法経社会学科 地域社会コースに新たな選抜方法として、「学校推薦型選抜Ⅰ」(対象となる高等学校の学科:商業科あるいはこれに準ずる学科、総合学科)の導入が決まり、大学のホームページに公開された。 |

私立大学陳情結果報告

| 大学名 | 面会者(役職) | 商業高校生に対する推薦入学制・特別推薦制等の要望事項に対する反応 推薦入学・特別推薦制、資格重視・商業科目の導入・拡大等 |
|--------|--|--|
| 神田外語大学 | アドミッション&コミュニケーション部 ゼネラルマネージャー 事務局補佐 アドミッションチームチーフ | 商業関係高校生徒を対象にした選抜は指定校推薦を取り入れている。他に、公募制推薦で広く受験者を募っている。 共通テストでは、受験科目を英語・国語・αとして、αは任意の科目を選択できる。情報の選択も可能である。 全商特別推薦で入学した生徒は、国際ビジネスキャリア専攻に所属する。本専攻科では、商業に関する学びを取り入れているが、全商推薦の生徒は、入学時に商業の基本が身に付いているので、入学後は他の学生を指導してくれている。担当教官は、この点を高く評価している。 大学では文理融合の学びが推進されている。このような状況で、専門高校の生徒は、一般教養プラスαの知識や技術をもっている点がいい。本校でも、外国語の教養に加えて、新たな教養を学生に身に付けてさせる方法を考えている。 |
| 関東学院大学 | 学長 アドミッションズセンター センター長・課長・課長補佐 | 指定校推薦での入学者については非常に優秀な学生が多い。学業に対して前向きな学生である。 全商特別推薦の導入について前向きに検討している。 |
| 國學院大學 | 総合企画部 入試センター入試課 入学担当次長 (入学課長兼務) | 毎年、優秀な生徒を推薦していただいている。全商推薦で入ってくる生徒はGPAも高く頑張っている生徒が多い。今年度から一校あたりの推薦人数の上限を設けたが、学内においては人数制限をすべきとの意見もあれば、すべきではないとの意見もあり、判断が難しい。今後については、入学した生徒の様子を見ながら検討していきたい。基本的に全商推薦は次年度も継続する予定である。 |
| 駒澤大学 | 入試センター入試課 課長・係長 試験実施係 | 全商推薦で入ってくる生徒は優秀な生徒が多く、主体的に学習に取り組むことができる。大学としては、次年度も今年度と同様の募集人数で全商推薦を継続する予定である。 経済学部で経済学科と商学科においては、日商簿記2級や全商簿記1級等の資格を生かし出願できる自己推薦選抜(特性評価型)を実施し、毎年、商業高校出身者が入学している。こちらの推薦制度も活用してほしい。 |
| 専修大学 | 教務部 教務課 課長 商学部 部長 | 指定校推薦・全商特別推薦を以前から実施しており、入学後も良い成績を修めている。 特に全商特別推薦で入学してくる生徒の成績は上位に位置しており、学部の教授たちも新入生を楽しみにしている。 商業からの入学者に対しての入学後の対応等について、特別な措置はとっていないが、簿記や会計について普通科からの卒業生を牽引している。 GPAの結果も良好である。また、目標や目的が明確な生徒が多いため、特別な措置をとらなくても意欲的に学んでいる。 |
| 千葉商科大学 | 入試セクション課長 | 商業関係高校生徒に対する推薦入学制・特別選抜等について、商業関係高校生徒を対象にした選抜は指定校推薦。商業を含めた資格をポイントの置き換えた推薦制度を取り入れている。 商経学部では、簿記の上級資格を持つ学生には初級簿記の単位を認定している。 全商の特別推薦で入学した学生はしっかりしている。教授からの評判も良い。 本年度の総合型選抜は、応募数が前年度比108%であった。 コロナの影響により地方からの学生が減少している。 |

| 大学名 | 面会者(役職) | 商業高校生に対する推薦入学制・特別推薦制等の要望事項に対する反応 推薦入学・特別推薦制、資格重視・商業科目の導入・拡大等 |
|--------|--------------------|---|
| 中央大学 | 商学部事務室 事務室 副課長 | 指定校推薦での入学者については比較的優秀な学生が多い。前向きな学生が多い。 商業からの入学者に対しての入学後の対応等について、特に商業高校出身者に対して特別なコースは設置していない。入学後授業についていけるための英語力を今後も確保したいので、全商協会の特別推薦は今後もBグループで募集していく予定である。 |
| 東京経済大学 | 総合企画部入試課長 | 商業からの入学生に限らず、以下のような対応をしている。 ①「学習センター」で学習に関する個別相談に対応 ②「会計プロフェッショナルプログラム」会計専門職を目指す3つのコース(公認会計士コース、税理士コース、国税専門官コース)がある。連携専門学校の受講料は全額大学が負担。定員は各年度50名で選考試験による。 ③「キャリアサポートコース」専門学校との提携により、割安な受講料で学内ダブルスクールを実現できる資格取得を支援する講座(会計専門職コース、公務員コース、ビジネスコース、情報処理コースなど)がある。 |
| 獨協大学 | 入試部入試課長 | 学校推薦型選抜の募集人数を減らし総合型選抜の募集人数を増やした。 経済学部(経済学科・経営学科)における総合型選抜の出願基準Bグループに、簿記検定や情報処理検定等を設けている。 英語の講義は習熟度別のクラス編制で対応している。 高校時代に合格した簿記検定を、大学の単位として認定している。 推薦条件のうち、実用英語技能検定2級以上合格を準2級以上合格に変更することについて検討してもよい。 英語の講義について、商業高校出身の学生は伸びしろが大きい。英語教育に力を入れており、入学前教育として課題を出している。また、在学中に、TOEICに3回挑戦させている。 |
| 日本大学 | 商学部教授 教務課入試担当主任 | 学校推薦型選抜(公募制)の募集人数を減らし、新たに総合型選抜を導入した。また、学校推薦型選抜(公募制)では、普通科と商業科等とで学科を分けて募集していたが、区別をなくし統合して募集することとした。 学力試験における入試科目として、一般選抜(C共通テスト利用方式)において、「簿記・会計」を選択可としている。「情報Ⅰ」を入試の選択科目として導入するか検討する。 商業高校出身の学生は、学部内でも優秀な者が多く、充実した学生生活を送っている様子が見受けられる。 新しい教育課程に対応した入試について、来年度公表する予定である。 |
| 法政大学 | 入学センター次長・ 課長 | 指定校推薦・全商特別推薦・商業学科等公募推薦を以前から実施しており、入学後も良い成績を修めている。 全商特別推薦で入学してくる生徒の成績は全体の平均値よりも高い成績を修めており、意欲的に学習に取り組んでいる。 商業からの入学者に対しての入学後の対応等について、特別な措置はとっていない。英語については、授業(単位)外の時間に外国人講師の指導を受けている生徒もいる。GPAの結果も良好である。コツコツ努力する生徒が多い。 今年度の全商特別推薦では、遠方からの生徒も推薦されており、幅広い地域から入学生を受け入れたい。 |
| 明治学院大学 | 入試センター 入試課課長 | 全商推薦の仕組みがあることを知ることができた。 明治学院大学も教育課程を変えている最中であるのでパンフレットを参考にしてほしい。 他大学の状況もみながら来年度以降、全商特別推薦について前向きに検討していきたい。 |
| 武蔵大学 | アドミッションセンター | 文部科学省による指導もあるため、全商協会特別推薦制度の募集人数増の見込みはない。 全商協会特別推薦制度で入学した学生は主体的に学ぶ意識が高く、礼儀正しい。教職員からの評価も良く、期待が高い。 令和4年度に新設される国際教養学部は、英語を重視しており、ロンドン大学と連携している。パラレル・ディグリープログラム(PDP)でロンドン大学の授業を武蔵大学で受講することで両大学の学位が取得できる。 |